

夏の星空

予想を立てるときの評価基準

S

夏の大きな星が写ったり写らなかったりするのとはなぜかについて、予想を根きよと共に説明でき、何と関係付けたことでその予想が生まれたかを説明できている。

A

夏の大きな星が写ったり写らなかったりするのとはなぜかについて、予想を立てることができ、予想の根きよを説明できている。

B

夏の大きな星が写ったり写らなかったりするのとはなぜかについて、予想を立てることができているが、予想の根きよを説明することができていない。

C

夏の大きな星が写ったり写らなかったりするのとはなぜかについて、予想を立てることができていない。

具体的な記述の例

※予想が事実とはちがっていても、理由が示せていればこの段階では質が高いと考える

「予想」

空が上から黒くなっていき、夏の大きな星の上の方の星をかくしてしまったから。

「予想」

空が上から黒くなっていき、夏の大きな星の上の方の星をかくしてしまったから。

「予想」

黒い空が夏の大きな星の上の方の星をかくしてしまったから。

「予想」

消えたから。

「予想の根きよ」

太陽がしずんで間もないときは太陽に近い地面付近の空がちょっと明るいことに気が付き、太陽がかなりしずんでしまうと太陽から遠い空の上の方から真っ黒になると思ったので、黒い空が星の前に来たことで星が見えなくなると思ったから。

「予想の根きよ」

太陽がしずんで間もないときは太陽に近い地面付近の空がちょっと明るいことに気が付き、太陽がかなりしずんでしまうと太陽から遠い空の上の方から真っ黒になると思ったので、黒い空が星の前に来たことで星が見えなくなると思ったから。

「予想の根きよ」

なんとなく。

「予想の根きよ」

わからない（書けていない）

「予想の立て方について
思ったこと」

夏の大きな星が写らなくなったことについて、太陽がしずんで間もない夜7時半の空は地面の近くが明るく、太陽から遠い空の上の方から黒くなるように見えたことと関係付けることで、予想の理由が説明できた。

「予想の立て方について
思ったこと」

ヒントがあったから予想できた。

「予想の立て方について
思ったこと」

むずかしかった。

「予想の立て方について
思ったこと」

むずかしかった。